

# まほろ

題字 薬師寺 高田好胤師

vol.2

2015

巻頭特集

6月第一例会「まほろばざーる2015」  
未来の奈良についてパネルディスカッション

奈良市立一条高等学校 数理科学科 科長

犬伏雅士

×

公益社団法人 奈良市観光協会 専務理事

鷺見哲男

×

NPO法人 なら燈花会の会 会長

中野聖子

×

一般社団法人 奈良青年会議所 第56代理事長

倍巖智洋

徳のこころ

〜輝く人とまちを目指して〜

1月～7月 例会事業報告  
奈良 JC メンバーのお仕事紹介



一般社団法人 奈良青年会議所  
<http://www.nara-jc.or.jp>

# 巻頭特集

6月第一例会 まほろばぎーる2015

## 「未来の奈良についてパネルディスカッション」

奈良市立一条高等学校 数理科学科 科長  
**犬伏雅士**  
 ×  
 公益社団法人 奈良市観光協会 専務理事  
**鷲見哲男**  
 ×  
 NPO法人 なら燈花会の会 会長  
**中野聖子**  
 ×  
 一般社団法人 奈良青年会議所 第56代理事長  
**倍巖智洋**



**倍巖** 失礼いたします。わたくしは、2015年度、一般社団法人奈良青年会議所理事長を仰せつかっております。倍巖智洋と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、三名のパネリストにご参加いただき、奈良の魅力について、お話しをさせていただきましたと思います。まず、奈良の魅力を紹介・発信し続けておられます、奈良市観光協会専務理事、鷲見哲男さんです。つづきまして、奈良の新しい魅力の発信を率先して行い、NPO法人なら燈花会の会、会長並びに、なら国際映画祭の理事を努めておられます、ホテルサンルート奈良代表取締役社長、中野聖子さんです。そして、最後は、先ほど「リニア超電導実験ライブ」にて素晴らしい実験を行っていただきました、現在、高校で教鞭をおとりになられています、奈良市立一条高等学校数理解科学科教諭、犬伏雅士さんです。

はじめに、奈良をよく知り、よく理解していただくために、わたくしを含めた舞台上の四名と、会場の皆さまも一緒になって、お話しをさせていただきますのが、今回のパネルディスカッションの趣旨でございます。よろしくお願ひします。それではお聞きしたいのですが、奈良の好きなおところを持っておられますか、奈良が大好き、少しだけ好きという方、普通だという方、奈良というまちが少し嫌だな、さまざまなお考えをお持ちの方がいると思いますが、奈良のいいところというのは、何がいいところなのでしょう？パネリストの方がたはどのようなお考えをお持ちでしょうか？会場の皆さまも自身に置き換えてお考えください。それでは、パネリストの方、よろしくお願ひします。



**鷲見** 奈良のいいところという質問ですが、わたくしは、奈良市観光協会専務理事という立場から、奈良の観光という視点から見た考えを中心にお答えさせていただきます。

**倍巖** はい。よろしくお願ひいたします。

**鷲見** いま現在の奈良の観光は、JR奈良駅、近鉄奈良駅周辺の商店街を中心に、非常にたくさんの方から観光客がいらっしゃっています。奈良で日々生活されている会場の皆さまもお気づきかと思いますが、信号待ちをしている100

人に7、8人が海外の方で、日本人は2、3人というようなケースも多いです。日本全体だと昨年度、海外から日本に来た人数が1341万人にもなります。また、今年も国の試算によると去年よりも4割くらい早いペースで増え続けていて、年間1800万人くらいになるだろうと言われていて、日本全体にやってくる人たちが増えた事で奈良のまちにも観光のお客が増え、非常に賑やかになってきています。

**倍巖** そうですね。わたくしもそのように感じます。職業が僧侶ということで、お参りで回って来ますと、奈良の市街地ではよく海外の観光客の方を見るようになりました。



良はまだまだ発信するべき魅力がもっとあるのでは、とわたくしも思います。

では、奈良の魅力という部分ではどうでしょうか？

**鷲見** 奈良にしかない魅力というものは、ひとつは日本の首都であったこと、奈良、京都、東京の3つだけということが言えます。

次に世界遺産、奈良市だけではなく、奈良県という括りという、3つもの世界遺産があるのは奈良だけなんです。法隆寺地域の仏教建造物、紀伊山地の霊場と参詣道、そして古都奈良の文化財、東大寺、薬師寺、唐招提寺、興福寺などのお寺がそろう。

そして次に、興福寺、東大寺などの国宝、重要文化財などです。全国の国宝の1093件のうち奈良県には198件、約20%の国宝が奈良にあり、中でも特に仏像などの彫刻においては、それに限って言うと全国で128件の国宝のうち、70件が奈良に存在します。

古くからの伝統や文化を守り続けている奈良というまちは、時代に適応しながら1200年もの永きに亘り、国宝の宝物に囲まれ暮らしている、そして、年に一度行われる今年で1265回目を迎える、東大寺二月堂の修二会、お水取りなどを一年も途切れずに行っているのです。

**倍巖** そうですね。わたくしも奈良の「ならまち」という地域に住み、僧侶という職業をさせていただいている中で、奈良のまちに根付く伝統や文化を守る精神性というものを感じ、また自分自身も守り伝えていかなくてはいけないという気持ちで生活をしています。

**鷲見** そうですね。その他にも、春日大社の式年造替も20年に1度、1200年も前から続いていますし、さまざまなものが継続して受け継がれている。こういったところが、私が奈良の素晴らしいところだと考えます。

今後も、守り続けること、受け継いでいくことに対して、寺社仏閣などに携わる方がただで守ればいいというのではなく、我われ観光協会も含めた奈良のまち、市民、全体で守っていく

**倍巖** まだまだ観光に訪れる方が増える余地はあるということですね。日本の観光という部分で、

まだまだ海外からのお客様は増える可能性があるだろうと考えています。

**倍巖** 奈良の魅力はまだまだ世界に向けて発信しきれていない、ということですかね。

わたくしもそれは思うところがあります。他に観光という視点からのお考えなどはお持ちでしょうか？

**鷲見** はい。その他には国内旅行・観光の中で修学旅行に目を向けると、奈良、京都という定番から、最近に関西の修学旅行も歴史や文化を学ぶテーマ

さらに中野さんのすこいと思う部分をもう少し掘り下げていただくと、どういった部分になるのでしょうか？

**中野** それは、地域のみなさんの顔を見て、子どもたちの顔と名前が認識できて、この土地の恵みに感謝をしながら生きていく人たちが、今もなおこのようにたくさんいるということは、大変素晴らしいことだと考えます。また、このような人ひととの繋がりの積み重ねが、春日大社さまの式典造替の折に、たくさんの方がたが寄進をなさるといったことにつながっていると思います。

**倍巖** 地域と子供とのつながり、子供たちと共に地域の行事などを行うこと、わたくしも、本年度の所信に書かせていただいている内容が、まさに現実となっている部分です。この奈良のまちのいい部分をさらに広く奈良に、また日本全体に広げていければと考えているのですが、中野さんの考えはどうでしょうか？

**中野** そうですね、私はホテルを経営しておりますので、首都圏などの関東圏の方とお会いする機会が大変多いのですが、普段、信仰する行事に携わっておられる方は驚くほど少ないです。逆に長野県や、九州地方、四国地方の方がた、主に田舎といわれる地方都市からお越しになる方は、いくらか親近感のあるお話ができます。

1番人口が集中している関東圏で、日々の方々のつながりや信仰などが途切れしていくというのを感じると、私が今朝、天神社さまの夏のお祭りの会議に行ったという、このことだけでも、ものすこいことなのではないかと思ひます。

**倍巖** そうですか。やはり都市部に近づくにしたがって全てというわけではないのですが、そういった信仰や伝統、文化を受け継いでいくということ、またそういった行事を通して、子どもたちと共に学び育まれる、本年度、わたくしが伝えたい共育、というものが失われつつあるのかと思うと、さらに我われは運動を起し続けたいと思ひます。

**中野** はい、私はすこい奈良の「ならまち」と呼ばれる地域で生まれ育ち、今も生活しています。「ならまち」と言われるところは、氏神さまが、天神社さま、または水室神社さまか御霊神社さま、と氏神さまが決まっているのですが、このすこく小さな神社の神域を、地域の人たちが毎日お掃除をなさって、町の子供達を御稚児さんとして出して、夏のお祭りや秋のお祭りを地道に守り続けている小さなコミュニティが今もなおあるのです。

今、日本全体を見た時に、地元の人たちが、ここまできちんと地元の神様にお祈りを捧げ、責任をもってお祭りを行い、お寺さんの役割を地域でまわしている、という文化が残っているとこころはかなり少ないのではないかなと思ひます。この部分をふと考えると、すこいことなのだなと思ひます。

**倍巖** そうですね、成熟した小さなコミュニティがたくさんあるということは、わたくしも近所さまですこいへんよくわかります。

また中野さんは、なら燈花会や、なら国際映画祭でもご活躍ですが、その活動の中で奈良の魅力というものをなにか感じるところはありますか？

中野 そうですね、奈良という文化的な豊かさの中で暮らしている私達であるからこそと思うところは、なら燈花会を開催するにあたり、ボランティアを募集させていただき、お弁当を1個だけ出させていただいて作業をお手伝いいただくのですが、本当にたくさんの方が来てくださるので、本当に気持ちを持ってお手伝いしていただいていると感じています。

倍蔵 わたくしも、たびたび会員としてお手伝いさせて頂いていますが、毎年、本当にボランティアの方がたの活動には、本当に感嘆いたします。

中野 本当にそうですね。また、なら国際映画祭では、普通、女優の方や俳優の方、監督、映画関係者の方しかレッドカーペットを歩けないですが、奈良で開催するレッドカーペットイベントは一人ひとり、みんなが主役になれるようなレッドカーペットイベントにしたいという思いで、なら国際映画祭に対して1万円の寄付をしてくださった方や、この映画祭を共に創り上げた人たちもみんなで一緒にこのレッドカーペットを歩きましょう、というコンセプトで開催させて頂いていただいています。映画関係者じゃない人も歩くレッドカーペットは、世界中の国際映画祭で奈良だけのことなのです。でも、このようなことが成立してしまうのが奈良というまちであり、奈良の風土だと思っていて、私はこれを誇りに思っています。

倍蔵 想いのこもったお答え、ありがとうございます。燈花会やなら国際映画祭を通して、コミュニティというものが形成され、すぐに形や物質的に残るものではない、自分たちで創っていく奈良らしい事業・行事という文化というものも目に見えない宝物である、また、奈良にはそういったものが豊富にあるのだと改めて思いました。あるメディアで、県外の人に奈良のイメージについて答えていただく、だいたい大仏と

鹿しかない、大阪の隣でなにもないでしょう？などの答えが多かったのを覚えています。

倍蔵 驚見さんと中野さんの意見をお聞きして、京都よりも断然古い建造物、本当に昔から様々な伝統や文化が引き継がれ根付いているのが奈良であり、いまこのまにに住まう奈良の人びとが、なぜこれだけのものが残されてきたかをより深く学び、外部に向けて発信していけば、より奈良の魅力は高まり、さらに魅力的なまちになるのではないかと考えます。

中野 では、大伏先生にご質問ですが、新しい科学技術などを活用して、奈良のいいところを伝える方法などは何かございますか？

大伏 奈良というのは、どこを切り取っても歴史や文化・伝統といった勉強ができるのです。子どもたちにとっては奈良に住んでいる事、そのことが勉強のフィールドに居ると考えます。私たちが理科の教員は、奈良の歴史や文化・伝統をどのような方法で次の世代に伝えていくか、これも使命の一つと思っています。よく文系と理系という分け方をしますが、文系の人が歴史を紐解く勉強するのが好きで、対して理系の人は新しいものを追いかける勉強するのが好きだ、という風に相対しているかのように思われているようです。

倍蔵 そうですね。わたくしの私的な見解も一般的にそのような人が多い。実際そうなのだと思います。では大伏さんはそうですね？

大伏 そうですね、私は、上手い「仕掛け」を創ることによって理系や文系に関係なく、子どもたちが歴史や伝統に対して理解を深めることに繋がると考えています。奈良に住む子どもたちが奈良が誇れる街だと思ってくれること、あるいは一つひとつの文化や伝統が昔から脈々と受け継がれてきたことで今の（奈良独自の）生活があるのだということ強く持つてくれるようになってほしいと思っています。

中野 今、奈良市では世界遺産学習というものを進めています。その一環として、一糸高校では普通科、外国語科、人文科学科、数理科学科の4学科が上手い「仕掛け」を創るにより、それぞれ



中野 はい。今の驚見さんの話ですが、そのまま大きくうなずくところではあります。ただ、奈良はあまりにも歴史が深く、すごいことがたくさんありすぎて、ちょっと軽く口にすることに

倍蔵 非常に大切なことだとわたくしも思います。続きまして中野さんはいかがでしょう？

中野 はい。今の驚見さんの話ですが、そのまま大きくうなずくところではあります。ただ、奈良はあまりにも歴史が深く、すごいことがたくさんありすぎて、ちょっと軽く口にすることに

倍蔵 非常に大切なことだとわたくしも思います。続きまして中野さんはいかがでしょう？

の学科の生徒が奈良に対して理解を深めることのできる企画を考えました。

倍蔵 そうなのですか。実際のどのような手法で行われているのでしょうか？

大伏 私たちで、何か新しいステップを踏み出せないかと思い、奈良市教育委員会が推進する「世界遺産学習」として、一糸高校が薬師寺の方に協力をお願いして、子どもたちが手を結んで奈良の文化や伝統を紹介する「薬師寺・一糸高校世界遺産プロジェクト」という企画を立ち上げました。本校の普通科の生徒が案内役を務め、寺子屋（薬師寺の夏休みの企画）に参加している子どもたちに、国宝に指定されている（同寺の）仏足石の解説をヘッドホンで聞くことができるようにしました。人文科学科が仏足石の解説を作り、この解説（音声信号）の入った光を発するLEDを仏足石に設置しました。LEDを使って仏足石のライトアップ（展示照明）と解説を同時にします。歴史や国宝等にも興味興味ない子どもも、仏足石に近づくとその解説がヘッドホンから自然に聞こえてくることで、科学に興味を持ったたり、歴史が好きになったりするのではないかと狙いがありました。

中野 さらに進めていく中で、外国語科の協力を得て英語翻訳版も制作して、外国人にも解説を聞いてもらえるようにしました。この「光伝送展示物解説装置」は、LEDの光の下に入ると耳に自然に音や情報が入ってくるというものです。展示物解説装置は、一般の博物館や美術館にもたくさんありますが、この装置は展示物によってチャンネルを替えるといった煩わしい操作がありません。数理科学科が制作したオリジナル装置です。

倍蔵 この事は多くの新聞で話題となって取り上げられました。高校の現場で行ったプロジェクトが多々の方々の注目を得たという点で成功だったと思います。抜群の話題性があつたようです。地元の高校が開発した装置ですか。

中野 報に、これは市町村のお祭りやイベントの広報、ビジネスにも応用できます。ここかの街灯の光の下に入ると、その地域の様々な情報やスーパの安売り広告などを聞くことができます。

倍蔵 中野さんは、ぼくが知っている中でも、非常に見識の高い方だと思います。奈良のまちに住んでいる方の中でも、たいへん詳しい方だな。

中野 いえいえ、そんなことないですよ。けどそうですね、小学校とか幼稚園の時に身を持って御稚児さんの行列を体験するとか、身を持って周りの人から奈良の歴史のこと教えてもらえるような機会がもつとあれば、大人になってからそんなに怖がることはないかとは思っています。

倍蔵 さきほど世界遺産学習のお話がありましたけども、私が小学校の時にはもちろん世界遺産という仕組みもなかったわけですが、今の小学校の皆さんが大人になって社会人になる頃には、自信満々に奈良のことをしゃべっているのではないかと思います。羨ましいと思って拝見しております。

倍蔵 中野さん、ありがとうございます。

中野 これは先日講演いただいた、高田好胤さんのご息女である、高田都耶子さんのお話しになるのですけど、奈良の人は東京から見ると歴史の勉強をするのに非常に優れた環境だと。ちょっと行けば稗田阿礼、奈良は現物を見ることが出来るのだよ。そういうものがごろごろしているのが奈良だというお話をいただきました。それをもつと奈良の学習の中に取り入れていかなくては、と強く思い、青年会議所でもなにかできないか？と考えています。

大伏 私は、奈良をテーマパーク化するのが面白いのではないかなと思っています。東京ディズニーランドも良いですし、USJもとてもおもしろ

す。各種イベントの宣伝や商店街の活性化につながるような期待できる装置です。「歴史や文化・伝統と科学の融合」とも言えます。古都奈良から日本全体へ、世界へ発信したい企画です。

倍蔵 大伏さん、ありがとうございます。新しいものと古いものを一緒に組み合わせることによって、また違った新たなものが生み出されるというものの考え方、そして高校生がチャレンジしているという部分にも非常に面白みもあり、期待するところも大いにあると感じ、また違った視点での奈良のいいところ、魅力を発見できたかと思っています。

中野 ということで、色々奈良のいいところのお話をいただきましたが、次に移らせていただきます。奈良が今の現状では足りていない、または不十分であるのでは、というところ、またそこからもう少しこを変えていけばより良くなっていくのでは、という点で、お話しをいただきたいと思っています。



倍蔵 大伏さん、ありがとうございます。非常に面白いご提案をいただきました。本場にテーマパークを提案したいと思っています。

中野 いどころなのですが、奈良という地域を活かして、その1つ1つの題材をうまくポジティブに伝えていけるテーマパークのような仕組みを奈良市さらには奈良県全体で、あるいは京都も一緒にやって大きなエリア作ることで、地域が活性化すると思っています。

倍蔵 たえば、先ほどのLEDの光を使った情報提供を行うシステムを各箇所に作って、ヘッドホンを無料でお貸しすることで、各地を歩くといういろいろな情報が入ってきたりする。また、奈良に住んでいる人にも着けて歩いてもらって、住んでいる人も楽しめる、外から来た人も新しいものを発見できる、そういった奈良のテーマパーク化を提案したいと思っています。

中野 非常に面白いご提案をいただきました。本場にテーマパークを提案したいと思っています。

倍蔵 大伏さん、ありがとうございます。非常に面白いご提案をいただきました。本場にテーマパークを提案したいと思っています。



門前まち会員会議所連盟  
5月臨時総会  
奈良会議



なら瑠璃絵



新年挨拶回り



第1回入会候補者  
オリエンテーション



2月第一例会  
「通常総会」



春日大社  
公式参拝



高田都耶子氏  
講演会



2月第二例会  
「会員拡大例会」  
～危険存亡の秋、  
今なら間に合う、全員で会員拡大～



1月第一例会  
「入会式」



7月第一例会  
「入会式」



特別会員との  
懇談会



1月第二例会  
「新年会」



7月第二例会  
「近畿地区大会  
草津大会」



奈良ブロック  
意見交換会



門前まち会員会議所連盟  
京都総会



サマーコンファレンス



鬼追式



京都会議

美味しいですよとか、そんな話しても私はいいと思つています。自分の好きな奈良っていうのを1つずつ見つけていっていただきたいな。それだけをお願い申し上げたいと思います。

信蔵 驚見さんがどうですか。そうですね、自分の好きなところ、場所があるというのは、本当にその場所がまた自分の心の拠り所になってくるし、そういうところや場所を持っているというのは非常に大事なことがあるのではないかと思います。

中野 はい。いまこの現代社会では、色々な知識を吸収するためのツールがあり、また本やドラマ、映画、などからもたくさん情報を得ることが出来ます。

倍蔵 そうですね。今の時代では、さまざまなツールから、取るうと思えばいくらでも情報や知識は入ってくる世の中です。けどやはり知識だけではなく、実際に体験することというのは非常に大切ですし、これから未来を担う若い世代には体感だけではなく、その中心となってやっていってもらいたい、ということでしょうか？

中野 そうですね。今、私たちが開催させていただいている新しいお祭りである、なら燈花会やなら国際映画祭、どれも皆さん本当に心を込めて作っていますし、また本当に歴史のある伝統行事の数々は、そこに参加しているだけで実感として体感として自分の経験として身に付くことというのがたくさんあります。参加しているうちに後で考えてみたら、あ、これあの歴史の教科書に書いていたこの事か、とか、奈良公園歩いている時に、あ、ここひょっとして聖武天皇が歩いていた場所と同じ所を歩いているのかな、とかそういう実感をぶっと湧き上がる瞬間

がありまして、このような実感ができるくらい奈良って素敵な場所だと思うのです。

信蔵 そうですね。歴史を紐解くと、ほんとに奈良という場所の歴史の深さに、声も出ないくらいになってしまいます。

中野 はい。昔の地形がそのまま残っている場所というのは珍しいと思うのですが、私は、特に飛火野のあたりから三笠山の上に朝日が昇っていく、そして、二月堂から夕日が落ちていくのを見るのが大好きなんです。そして、多分この天体の様子と歴史的な建造物と、そしてそこに佇む奈良の自然というのは多分もう数千年も同じで変わらない景色なのではないだろうか、というふうなイメージが一体化して、時間軸のないような気持ちになるんです。このような感覚、奈良独特の呼吸ができるような人に皆さんなっていたらなと思います。以上になります。

倍蔵 はい、中野さん、ありがとうございます。奈良に住んでいても、なかなかそこまで奈良に馴染み、親しみの中で生活をしている方は少ないのではないかと思います。素晴らしいお話しをいただきました。わたくしも今度、朝日を見に行こうかなと思いました。それでは犬伏さんはいかがでしょう？

犬伏 子どもたちのメッセージということで、驚見さんも中野さんもおっしゃっていたのですが、私は、横で聞いていて、胸が苦しい思いでした。子ども達にも教える立場の私たちがもっと頑張るって子ども達にそういったことを伝えてくださいよ、というメッセージなのかな、というふうに承りました。これからは全力で子ども達にもっと上手く奈良らしさを伝えていけるような仕組みを考えていきたいと思います。どうもありがとうございます。

らなというふうに思います。ちなみにバネリストさん、奈良のまちで好きな場所とかあれば教えてくださいなと思います。

驚見 私ですね、他にも好きなものはたくさんありますけども、近鉄電車の西大寺の駅から出発して新大宮の駅にかかる車窓の風景。ひとつだけというのであれば、その風景ですね。私は奈良に来て3年で、東京に長くいたのですが、昔、奈良に来たときに近鉄特急乗って西大寺を出ると、あ、奈良に来たな、というも思っていました。中には、平城宮跡の真ん中のあるところに電車が走るのはいくらも、という方もいらっしゃると思いますが、私はいまあの景色がすごくいいなと思つています。

倍蔵 はい、ありがとうございます。近鉄電車が、平城宮跡の真ん中を走っている、昔と景観も大分変わったなと思つても、やっぱりあれも奈良らしいという事でしょうか。ありがとうございます。中野さんいかがでしょう？

中野 好きな奈良ということですが、私は、興福寺さんの南円堂の鐘の音でいいの、日々の暮らしを営んでおります。朝の6時、昼の12時、夕方の6時の鐘の音が聞ける環境にほぼ毎日おりまして、鐘が聞ける範囲にいます。安心感があるというか、鐘が聞こえる範囲にいる間、私がかたえ何か大怪我をしたとしても誰かが絶対助けに来てくれるだろうし、みんな私の顔を知っているし、っていう地元の安心感があるんです。そういったことから興福寺周辺、特に猿沢池の五十二段あたりが小さい時から原風景でもありますし、私から取ることでできない景色だと思つていて、その中で安心して暮らしております。



犬伏 景色や雰囲気という、私は飛火野園地が好きです。また、奈良のいいところと冒頭で申し上げましたけども、奈良のいいところはゆつたりと時が流れていく、これがなんか奈良のいいところかな。この田舎町も同じなのかもしれないけど、そうやってゆつたりと時が流れる中でちょっと目を閉じてみると鹿の匂いがしてきて、そしてさらになにか歴史の香がする、そんなゆつたりと時が流れている、そんな奈良のま

倍蔵 犬伏さん、ありがとうございます。わたしも奈良は時間がゆつたりだと思つています。東京などの都会に行く人が歩くのも早いですし、奈良には奈良の体感というか、奈良時間が流れているような気が確かにします。ありがとうございます。

これで全ての質問が終了したわけですが、会場の皆さま、最後までお付き合いありがとうございました。奈良に住んでいる方がたがほとんどかとは思いますが、本日のパネルディスカッションを開催させて頂いたことにより、奈良の未来を作っていく若い世代の方々が、奈良の好きなきところを考えてみようかなと、また、リニアの先の未来の奈良というものを、少しでも思い描いてお時間になりましたので司会にマイクをお返ししたいと思います。ありがとうございます。

### 5月第一例会 「天平祭」

5月3日(日)～5月5日(火)に行われた天平祭の開催中、5月3日に行われた天平行列に奈良JCメンバーも一致団結し参画しました。当日は、行列に参加される一般市民の皆様の受付から行列の誘導まで終始運営スタッフとして頑張りました。  
行列途中、一瞬雨がぱらつく場面もありましたが、なんとか天気も持ちこたえ無事に終了することが出来ました。



### 3月第一例会 「挑戦」～徳のある輝く人になる～

3月9日(月)に倍巖理事長が副住職を務められている法徳寺において、3月第一例会「挑戦」～徳のある輝く人になる～を行いました。当例会では、月亭一門である月亭方正氏ならびに月亭八斗氏に講師としてお越しいただき、倍巖理事長とディスカッション形式での講演を行いました。また、講演後にはお二方から落語を披露して頂きました。  
芸人から落語家へ転身された月亭方正氏の、未知の世界にも果敢に挑戦し、自らを成長させてこられた実体験をもとに、我われ奈良JCメンバーが今後どのように運動を展開していくべきかの良い気付きとなりました。



### 6月第一例会 「まほろばざーる2015」

6月第一例会は、6月28日(日)になら100年会館大ホールおよび時の広場で行われました。大ホールでは奈良県内に誘致が決まっているリニア中央新幹線の技術である超伝導についての科学実験と奈良の未来についてパネルディスカッションが行われました。時の広場ではセグウェイ、バイクバイク、パワードスーツの体験と茶道体験、天平衣装、チームPREドクターズによるパフォーマンス等が行われました。  
多くの一般市民の皆様に参加していただき、奈良の良き文化を再確認していただくと共に未来のビジョンを描ききっかけとなったのではないのでしょうか。



### 4月第一例会 「育み、育まれる、おかげさまのころ」

4月第一例会は、4月25日(土)に生駒山麓公園のふれあいセンターならびに野外活動センターで行いました。奈良市・生駒市在住の小学1年生から小学4年生を対象に50名の子ども達に参加いただきました。  
午前中は、「いつもここにありがとう」と題して、本年のスローガンである「徳のころ」についてお手製の紙芝居を使って、感謝の気持ち「ありがとう」の大切さについて学びました。  
午後からは、野外活動センターに場所を移して子ども達と共にカレー作りを行いました。普段食べている食事が口に入るまでにどれだけの人が関わっているかを実感することで、日々の生活がいかに多くの人の助けの下で実現しているのかということを知ることができました。



# 奈良JCメンバーの お仕事紹介

我われ一般社団法人奈良青年会議所では様々な業種のメンバーが集まっています。  
普段、何気なく顔を会わしているメンバーの職業について案外知る機会が少ないように思います。  
今回の「まほら」ではメンバーの仕事風景を取材してきました。 (担当：上中)

## MORITEC 沖津 繁則

総務委員会 副委員長



我が社では、マンション・ビル・ショッピングモール・工場等の鉄骨の製作・施工、また、耐震工事(「K型ブレース」)や、最近注目されている太陽光発電施設の提案から製作・施工も行っております。  
若い会社ならではのフットワークを活かし、各協力会社の皆様と共に、「迅速かつ確実に満足いく」施工を行い、耐震性・耐久性に優れた「鉄骨造」の可能性を追求し、さらに、新しいことに対して、常にチャレンジ精神を持ち続け、従業員共ども、日々仕事に邁進しています。

## 税理士法人 森田会計事務所 森田 洋平

徳の教育実践委員会  
副委員長



税理士法人森田会計事務所は今年創業85周年を迎えました。奈良のまちに密着し、法人税・所得税に関する税務申告はもちろんのこと、付随して発生する資金調達や、次の世代への事業承継、合併等の組織再編といったご相談に幅広く対応させていただきます。  
経営者の皆様が安心して事業を継続できるよう全力でサポートさせていただき、皆様に頼られ、愛される会計事務所をこれからも継続して運営していきますので、皆様いつでもご相談お待ちしております。

## シンコー看板 見山 高幸

徳の教育実践委員会  
委員



シンコー看板 昭和53年に創立。今年で36年を迎えることができました。印刷物・テント・電飾看板・塗装・インクジェット出力・書き文字・カットシート・LED・サインポールなど、あらゆる看板の仕事の立案から製作・施工までを業務とさせていただきます。先代が築き上げてきたお客様や、新しいお客様との信頼関係を深め、ニーズにお応え出来るよう日々努力し、地域貢献できるように目指してまいります。

## 小路谷写真株式会社 翹谷 展

徳の教育実践委員会  
委員



私共、小路谷写真株式会社は昭和9年この奈良市に開業致し、おかげ様で昨年度は創業80周年を無事迎える事が出来ました。写真館としての肖像写真・婚礼写真・集合写真を始め、北は北海道から南は九州・沖縄まで日本全国の観光地・イベントに展開し、各種記念写真を撮影及び販売しております。奈良へ観光へ訪れたお客様のみならず、同郷の奈良の方が観光へ向かわれた際、小路谷の看板を見かけましたら、お気軽にお立ち寄り下さい。

## 次回「まほら第3号」は、12月に発刊予定です。

## 奈良青年会議所は、明るい豊かな社会の創造に向けて活動しています。 20~30代の会員を募集しています。

一般社団法人 奈良青年会議所 広報誌「まほら」2015 Vol.2 2015年8月 発刊 通巻448号

発行：一般社団法人 奈良青年会議所

〒630-8213 奈良市登大路町36-2 商工会議所会館4F

TEL. 0742-26-0112 FAX. 0742-23-5519

URL. <http://www.nara-jc.or.jp>

編集：広報戦略委員会

有馬 憲治 (委員長) 鈴木 一生 (副委員長) 上中 一成 (幹事)

池田 泰章 勝山 弘樹 北原 智行 出口 雅也

三瀬 義男 湯脇 大樹